

# ○○の卒業生に聞いてみた!

# Interview!



「学校で何を学べば良い?」「この勉強は将来、役に立つ?」と悩む学生の皆さん、必見です!  
当社社員が自分の学生時代を振り返り、それらの疑問に答えています。  
これを読むと、学校での学びを当社で存分に活かせることがわかるはず!



東海工業専門学校の  
機械科卒!

第一工事部 兼 設計部  
マネージャー  
たけむら ゆうき  
竹村 幸起 さん

## 学校で学んだこと

### 工業分野の基礎を学習

具体的には、まず、製図。紙でも、CADでも書きました。あとは旋盤、溶接、機械加工など。とくに力を入れて取り組んでいたのは、旋盤と製図だったかと……。しっかりやっていたらきちんと社会人として働けるのは、自分が証明しています(笑)

## 学校で学んで 仕事に役立っていること

### 基礎知識があれば業務もスムーズに

学校卒業後に入社した会社でも当社へ転職後も、設計を担当したのですが、CAD製図の知識は役立ちました。図面を書くにも、基礎知識があるだけでスムーズに取り組めます。また、上司や先輩、お客様がお話されていることも理解できて、すぐに手を動かすことができました。学校の先生は厳しい面々ばかりだったのですが、そういった厳しい大人と対峙してきた経験も、今に活かしています(笑)

## 今だから思う「学生時代、コレ、学んでおけば良かった!」

### 数え上げたらきりが無い!

数学や物理など、たくさんありすぎて、あのころの自分に「やれ!」と言いたいほどです。ちなみに「サイン・コサイン・タンジェント、大人になったら使わないよ」と思う人は多いはず。いえいえ、今なら言えます。「意外と使うぜ!」。私たちも職人さんも、使っています。会社に戻ってパソコンを使えば簡単々かもしれませんが、現場では「あそこを斜めにしたら?」と電卓計算。数学の知識、あるに越したことはありません!

## 学生の皆さんへメッセージ

勉強でも遊びでも、良いことも悪いこともすべて経験になります。経験は積んだほうが良いと思うので、新しいことはとやみくまにせず取り組んでみてください。その経験の多さで、人としての器の大きさや厚みが変わってくるはずですよ。

Message!

## 小澤製作所の魅力POINT



当社には、手厚いサポート体制や、資格取得への支援、また、先輩や上司と距離を縮められるイベントなどもご用意しています! 「入社後にちゃんと活躍できるかな……」「他の社員の人たちと始めるかな……」といった不安がある人も、ご安心ください。

### 01 未経験から技術を 習得していくことが可能!

「ものづくりを支える技術集団」である小澤製作所。こう聞くと「ハードルが高そう……」と思われるかもしれませんが、実は**未経験の方に向けてしっかりとサポート**をしています。「製造部(モノづくり)」「工事部(現場監督)」「設計部(エンジニア)」のいずれかの道に進むことが可能。順を追って丁寧にレクチャーしていくため、未経験の方でもまったく問題ありません。担当となる先輩と一緒に、1年かけてしっかりと仕事を学ぶことができます。

### 02 全額会社負担で 資格を取得できる!

仕事の中で携わる職種も多いため、取得必須、または推奨している資格がいくつかあります。**取得のための費用は、会社が全額負担**。資格は会社で役立つだけでなく、人生の財産となるもの。目標をしっかりと決めながら、さまざまな資格を取得していきましょう。

### 03 社員のスキルアップの サポートも充実

新規ビジネスの提案など、興味があること、挑戦したいことがあれば相談してください。**過去にはCAD講義、学会の講習はもちろん振動分析の講習を受けて、新たなビジネスに発展させた社員もいます**。人材育成のためなら、必要なサポートや投資を惜しまない。それも当社の魅力です。

### 04 仲間と親睦を 深められるイベントも!

当社の仕事では、社員同士のコミュニケーションが不可欠です。工場の不具合を直すときも、みんなで連携することが重要。そこで、**楽しみながら親睦を深められるよう、社内さまざまなイベントを開催**しています。具体的には部署ごとの定期的な懇親会、バーベキューなど。もちろん、イベントにかかる費用は全額会社負担です。

## 小澤製作所は産業の発展に技術力で貢献します!

創業から今まで、常に新しいものづくりへ挑戦し、カタチにしてきた小澤製作所。お客様からいただく「こんなの作れる?」「こんなの直せる?」という声に対して的確に判断し、応用力を活かした提案を実施。一つひとつのご要望に対して一切の妥協をすることなく、ご満足いただける製品を提供してきました。これまでの実績に裏付けられたエンジニアリング力を活かし、より高い製品価値を生み出し、今後も各種産業の発展に貢献してまいります。



# 小澤製作所がいる業界って、 どんな業界？



当社HPの事業内容には、「工業プラントの設備をはじめとする、各種産業機械の設計・製作・施工・メンテナンス及び配管工事」を行っていると掲載しています。しかし、この内容を見て「イメージが浮かびづらい……」という方もいらっしゃるかもしれません。そこで今回は、当社が身を置いている業界や事業内容、存在価値などについてレクチャー！当社と同じ道を歩んでみませんか？

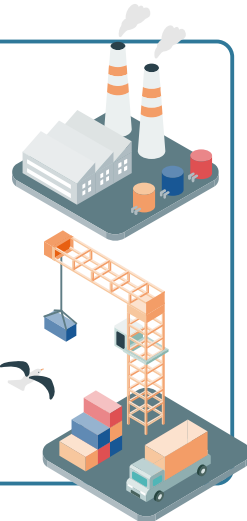
## どのような業界？

### 社会に必要不可欠なプラント業界

建設業、工事業には様々な分野がありますが、当社の事業特性上、広義的な解釈をすると、「プラント業界」で活動していると言えます。プラントと聞くと、頭に浮かぶのは植物かもしれませんが、実は「生産設備」という意味でも用いられています。

プラント業界とは、社会や経済を支える重要な物資の生産設備をメインに取り扱う業界です。石油やガスなどのエネルギー、化学・金属・医薬品など、物資の種類は様々。さらにその物資によって、必要とされる設備も多岐にわたります。どのような物資を生産するかで求められる設備が異なるため、エンジニアリングを行い、環境に適した設備配置を行わなければなりません。

ちなみに、当社は「工業プラント」と呼ばれるジャンルに特化。一連の機械・装置の設置にあたり、設計から製造・建設、保守まで対応しています。



## プラント工事と建設工事の違い

### 末永いお付き合いができる仕事

「要するに工場を建てるってこと？」と感じた方もいらっしゃるでしょう。しかし、プラント工事と建設工事には大きな違いがあります。その理由の1つが、設備工事の有無です。**プラント工事では、建物に加えて機械や配管などの工事も行います。**各種機器や電気・計装、タンク、ポンプなども含まれていれば、プラント工事と言えるでしょう。

また、工事が終わったあとも、**継続的にメンテナンスや管理を行う**ところも特徴の1つ。近年は、そういったアフターサービスまで網羅している企業が増加傾向にあります。

## エンジニアリング事業者の存在意義

### 継続的な生産活動において欠かせない要素

前述でも申し上げた通り、当社は設計から製造・建設、保守（メンテナンス）までを一手に引き受ける、いわゆる「エンジニアリング」が行える事業者です。

エンジニアリングとは、工学技術を組み合わせること。インフラに付加価値を与え、社会の様々な問題を解決へと導きます。重要なのは、「もの」を提供するのではなく、「仕組み」を作ることです。技術力やノウハウを活かし、お客様が生産するためのシステムを構築していきます。安定的かつ安全に稼働するプラントを用意するために、エンジニアリング事業者が存在していると言ってもいいでしょう。

## EPC事業者とは

エンジニアリングは、「設計→調達→建設→試運転→メンテナンス」という流れで仕事を進めていきます。また、こういった事業を行う業者を「EPC事業者」とも呼びます。EPCとは、設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設(Construction)の頭文字を取った総称です。

## 設計「設計部」

プラント設計は、大きく分けて「基本設計」と「詳細設計」に分類されます。

基本設計は、プラントの概要を決めていく作業です。必要な機器の選定や稼働時の作業効率などを踏まえ、設備のレイアウトを計画していきます。

そして基本設計のあとは、詳細設計へと移行。詳細設計では、工事を行うために細部まで詰めていきます。

## 調達「資材部」

工事に使う資材や材料を仕入れるフェーズです。物によっては海外との取引を行ったり、特別な仕様が求められたりすることも。価格交渉だけではなく、納期や品質管理も重要です。

## 建設・試運転「工事部・設計部」

あらかじめ策定した設計書に基づき、プラントが稼働する現場で工事を行っていきます。機械設備や電気・配管など、あらゆるジャンルの工事を同時進行するのが一般的です。多くの工事業業者、技術者が出入りするため、入念に工程管理を行わなければなりません。

そして建設が終われば、設備の試運転を行います。確かな安全性と性能を確認でき次第、お客様へのお引渡しです。

## 保守（メンテナンス）「工事部」

「工事が終わったら仕事も終わり」ではプラント工事とは言えません。定期的にメンテナンスを行い、継続してフォローを行います

## プラント業界の楽しいところは？

### あらゆる知識と技術に囲まれ、 自分に成長できる！

1つのプラントを作っていく過程において、数多くの分野の工事に触れることになります。当然、各種で専門家が活躍するシーンを目撃するでしょう。技術者との出会い、連携、そしてときには教わることも多いはず。自分の担当範囲だけではなく、プラント全体を把握する能力を培えるでしょう。点と点が繋がり、確かな知識へと変わる快感。そこには、プラント業界でしか味わえない気持ちよさがあります。

### 規模の大きな仕事に携われる！

プラント工事は、とてもスケールの大きな仕事です。設計段階からお客様へのお引き渡しまで、年単位を費やすこともあります。また、工事規模の大きさに比例し、プロジェクトで動く金額も破格です。1件だけで数億円、という工事も珍しくありません。何より、「新たな物資やエネルギーを世に送り出す」という意義のある行為にかかわれます。工事完了後の達成感が、次の工事への意欲へと変わっていくでしょう。

## プラント・ エンジニアリング業界の展望

### 一時期の停滞を乗り越え、 再び安定した需要地盤に 支えられる

経済産業省の発表によると、2022年度のプラント・エンジニアリング業の受注高が、8兆1480億円にも達したようです。例に漏れずコロナ禍の影響を受けたものの、エネルギー需要は回復。前年度比2.9%増を記録したことで経済活動の正常化が見られており、今後ますます上昇気流に乗ることが予想されています。自動化やデジタル化への対応も推し進められ、十分な将来性が見込まれている業界と言えるでしょう。

